

2017年度 第6回運用容量検討会 議事録

日 時：2018年3月26日（月） 13：30～14：00

場 所：電力広域的運営推進機関（豊洲ビル）会議室B及び広域本番会議室A（TV会議）

出席者：

坂原 淳史（北海道電力株式会社 流通本部工務部広域システムグループグループリーダー）

矢口 智（東北電力株式会社電力 ネットワーク本部電力システム部給電グループ 課長）

田中 泰生（東京電力パワーグリッド株式会社 系統運用部系統運用計画グループグループ
マネージャー）

甲斐 静治（中部電力株式会社 電力ネットワークカンパニー系統運用部系統技術グループ課長）

川島 渉（北陸電力株式会社 電力流通部系統運用チーム統括課長）

高垣 恵孝（関西電力株式会社 電力流通事業本部給電計画グループチーフマネージャー）

角井 弘典（代理出席）（中国電力株式会社 送配電カンパニー系統技術グループ 副長）

長谷川 隆（四国電力株式会社 電力輸送本部系統運用部給電グループリーダー）

高崎 真司（九州電力株式会社 送配電カンパニー電力輸送本部電力品質グループ長）

飯塚 俊夫（電源開発株式会社 流通システム部変電・系統技術室総括マネージャー）

事務局

竹内 浩（電力広域的運営推進機関 運用部長）

田治見 淳（電力広域的運営推進機関 運用部担当部長）

大川 修司（電力広域的運営推進機関 運用部広域調整グループマネージャー）

松尾 工（電力広域的運営推進機関 運用部広域調整グループ）

藤田 利和（電力広域的運営推進機関 運用部広域調整グループ）

奥山 孝幸（電力広域的運営推進機関 運用部運用技術グループ）

黒川 剛志（電力広域的運営推進機関 運用部運用技術グループ）

中嶋 駿介（電力広域的運営推進機関 運用部運用技術グループ）

配布資料

資料1：連系線の運用容量算出における検討条件について（2019～2028年度）

資料2：FCのEPPSの整定見直しについて

議題1：運用容量算出結果について

〔主な議論〕 ○検討会 ●事務局

- ・「連系線の運用容量算出における検討条件（2019～2028年度）」について事務局から資料1の説明後、議論を行った。
 - ：4月2日に資料1を検討条件の案として公表し、4月13日を締め切りにご要望をお受けする。その後、受けたご要望について対応を審議し、5月末には最終的な検討条件を確定するというスケジュールで考えている。
 - ：P. 21のフリンジの設定値について、2017年度実績3σ値の算出のためには3月31日までのデータが必要なため、4月2日の段階では算出中として公表する。その後、2017年度の実績を算出し、5月末の検討会において今回の設定値を決定する。

議題2：その他

〔主な議論〕 ○検討会 ●事務局

- ・「FCのEPPSの整定見直し」について事務局から資料2の説明後、議論を行った。
 - ：2018年4月2日10時に整定変更を行う予定である。変更が完了すれば広域機関に連絡する。
 - ：整定変更予定および完了連絡の件、承知した。
この見直しによる効果は2点あり、1点目は「60万kW全量を早い段階で送電することにより、受電エリアの周波数低下の抑制が期待出来ること」、2点目は「動作ロジックの簡略化により確実な動作が期待できること」と理解している。
 - ：2点目については「1段にしたことで、複数段制御による複雑さがシンプルになった」ものの、信頼性という点では従来と同等と言える。

以上